

JA松任青年部

YOUTH SITE



【自然薯の定植】

〔山島地区青年部〕

新型コロナウイルスの影響で青年部活動を縮小し例年通りの農作業を見送るなかで、少ない人数で短時間で農作業を行うことを考え、建築資材を利用して自然薯の定植を試みることにしました。

昨年までのパイプ栽培では、土の掘り起こし↓パイプ設置↓埋戻しと5名で約半日作業でしたが、今回は3名で約1時間で作業が完了しました。収穫も掘り起こす必要はなく、バンセンを切るだけで建築資材の解体ができるので、1人でも収穫が可能です。

初の試みで果たして無事収穫できるのか不安もありますが、成功を期待しながら爽りの秋を待ちたいと思います。



【剣崎なんば植え替え作業】

〔松南支部林中地区青年部〕

5月31日（日）、吉田家のビニールハウスにおいて剣崎なんばの植え替え作業を行いました。今年度は新型コロナウイルスの影響で通常通りの青年部行事が行えない中、少人数でなんば作りの作業を行うことができて良かったと思います。

今後なんばの成長にあわせて露地植えを行い、収穫にむけて本格的に生育状況を見ていかなければなりません。

収穫したなんばは加工し、なんば味噌としてまいどさん市場や、Aガイヤ、Aコープに販売しております。販売先は少しずつ広がりつつあり、買っていたたく方も年々増えてきているように思います。今後は更なる販売先の拡大や、伝統的な剣崎なんばを守るべく、盟友一同知恵を出し合い、大切に育てていきます。



【野菜苗の定植作業】

〔西南支部石川地区青年部〕

石川地区青年部です。

今年は新型コロナウイルスの影響で、通常の青年部活動を決めることも出来ないまま、シーズンを迎えましたので、少人数で子供達を呼ばずに、野菜苗の定植を行いました。

4月中旬の天候の良い日曜日に畝たて・マルチ張・定植を行う予定でしたが、雨天の関係で日程もずれ、機械での畝たての予定が、結果的に人力で鋤・スコップでの畝たてになりました。そのままマルチを張り、ジャガイモを2種（男爵・きたあかり）植えました。

5月17日には、残りのさつまいも・落花生・枝豆の定植・種まきを行いました。この時もまだコロナが収束していませんでしたので、短時間で終了するようにしました。

秋には、新型コロナウイルスも収束して、子供達と一緒に収穫できることを願っています。



【皆さん、ご存じですか?】

（中央支部）

郷地区横江町には、国指定史跡「東大寺領横江荘（よこえのしよこ）遺跡」があります。

2018年、東大寺領横江荘 誕生1200年の節目の年に郷

土の歴史を再認識し古き時代の文化を学ぶ機会ととらえ、春から秋にかけて、世代間交流による地域住民参加型事業（古代米づくり）がスタートいたしました。本事業は、本年度で3回目の事業開催となります。

我々J A松任青年部中央支部は、「令和2年度活動基本方針 事業を成し遂げ地域社会に貢献する。」という方針のもと年間活動を計画しました。昨年度から水面下で下支えをし、本年度から本格的に後押しすべく東大寺領横江荘荘園まつり実行委員会組織に組織団体の一員として参画しました。

現在、私たちの生活環境は、世界規模で目に見えないウイルスとの闘いの中、行動制限を余儀なくされ予断を許さない状況下ではありますが、古（いにしえ）の時代より生活の糧の一端を担う食（稲作）は幾度の苦難を乗り越え、現代社会を生きる私たちへ連綿と受け継がれてきております。

郷土の歴史、文化、伝統を慮る想いは私たち青年・地域の方々の協働によって次代へ伝えていかななくてはなりません。

5月17日（日）9時、白山市横江町 地内圃場にて古代米田植えをおこなった状況を写真にて掲載させて頂きま

す。
※曇り空のもと、有志で募った盟友と地域の方々と共に古代米を植えた状況です。

